



普段着の神戸



レベル3の始まりは、幸せな籠りに包まれた「はた珈琲店」から。神戸で最も歴史ある商店街、神戸元町商店街の名喫茶です。地元で愛される、こうした名店揃いの商店街を歩けば、飾らない日常の神戸に出会えます。

はた珈琲店

1978年創業の珈琲専門店。新鮮な豆を自家焙煎し、丁寧に選れたコーヒーは、濃り高くコクのある味わい。店内に飾られた約200種のカップ&ソーサーから選んで、上質な1杯を提供してくれる。「風見鶏ブレンド」「港町ブレンド」など、神戸にちなんだ名前が付けられているブレンドコーヒーは全8種類。焼き知りもしている

☎078-341-3410 神戸市中央区元町通5-7-12
 営業9:00～20:00(火～19:00) 水定休(祝日の場合は営業)

COLUMN 神戸とコーヒー

私たちの生活に深く浸透しているコーヒー。江戸時代後期には、長崎・出島に伝来していたようですが、広く飲まれるようになったのは、やはり開港後。ここ神戸では、神戸元町商店街に現存する茶舗「故香堂」が、いち早くコーヒー豆の輸入に着手。輸出先で換み荷のお茶を下ろし、代わりに豆を持ち帰ったのがその始まりで、1878(明治11)年頃には、日本最古とも言われるコーヒー店を開き、喫茶としてコーヒーを提供したのでした。新しいもの好きの神戸にコーヒー文化は自然と根付き、今もこの街には関連企業や喫茶店が多いのです。



LEVEL 1

LEVEL 2

LEVEL 3

LEVEL 4

LEVEL 5



6つの商店街・小売市場と6つの“こなもん” 新長田エリアの商店街 [長田区]

お好み焼き店の密集度が日本一と言われるほど、「こなもん」の食文化が根付く街、新長田。ここで生まれた「そばめし」は、細かく刻んだ焼きそばをご飯と一緒に鉄板で炒めて、ソースで味付けしたB級グルメ。地産産業の竣工場で働く工員さんが、昼休みにお好み焼き店で「持参の」冷や飯と一緒に炒めてと注文したのが始まりとされ、牛すじとコンキョウを甘く煮た「ぼっかけ」を入れることも、新長田の6つの商店街・小売市場から、人気の「こなもん」をご紹介します。



1 やよい 大正筋商店街

阪神・淡路大震災の火災で、約9割が焼失しながらも奇跡の復活を遂げた大正筋商店街。その再開発ビル内に佇むのが1953(昭和29)年創業の老舗「やよい」。この店の代名詞「グッドライス(そばめし)」は、ボリューム満点でソースの甘辛い香りが食欲をそそります

☎078-641-0841
神戸市長田区久保町6 アスタ
くにつか4階1F 営 11:30 ~
14:30、17:00 ~ 20:30 水・木・金・休



4 そば焼いりちゃん 丸五市場

細い入り組んだ路地で構成される丸五市場は、下町情緒溢れるデイズスポット。そば焼き「いりちゃん」の「そば焼」は、キャベツのシャキシャキ食感がたまらない逸品。旨味調味料は一切使わず、麺やキャベツなどの素材にもこだわっています

☎078-641-2341
神戸市長田区二葉町3-10-11
丸五市場内 営 10:00~18:00
火・毎月最終水曜定休



2 ゆき 西神戸センター街

西神戸センター街は、10数店舗からなる全長100mの小さな商店街。行列ができる人気店「ゆき」は、地元だけでなく遠方からお客さんも多いそう。なかでも人気は「ブラザーソース」を使った「そばめし」。コメでいただくのが通の食べ方です

☎078-611-4785
神戸市長田区久保町4-2-5
室 11:30 ~ 15:00、17:00 ~
21:00 水・第3火・定休



5 くになちゃん 六間道商店街

道幅が6間(約10.8m)あるところから、その名が付いたと言う六間道商店街。2017年にオープンした「くになちゃん」は、働く人のために、お昼時には味噌汁を無料でサービス。お好み焼きは、すぐ近くに「ぼっかけ」を使って香ばしく焼き上げます

☎080-5300-1818
神戸市長田区二葉町3-1-2
営 12:00 ~ 14:00、17:00 ~
21:00 火・祝・定休



3 いろは 新長田1番街商店街

新長田のシンボル「鉄人28号」の巨大モニュメントの足元に広がる商店街。その一角にあるお持ち帰り専門店のお好み焼き「いろは」は、その安さとボリュームから老若男女に愛されています。神戸の地ソースを数種類ブレンドしたオリジナルソースは絶品

☎078-611-1798
神戸市長田区大橋町6-1-1
営 10:00 ~ 20:00 無休



6 志ば多 本町筋商店街

専門店が並び、「通」が好むと言われる本町筋商店街。1947(昭和22)年創業の「志ば多」は、お好み焼きにそばを混ぜる。「モダン焼き」発祥の店と言われています。当初はそばではなくうどんを使っていたそうで、ここでは「うどんモダン焼き」もいただけます

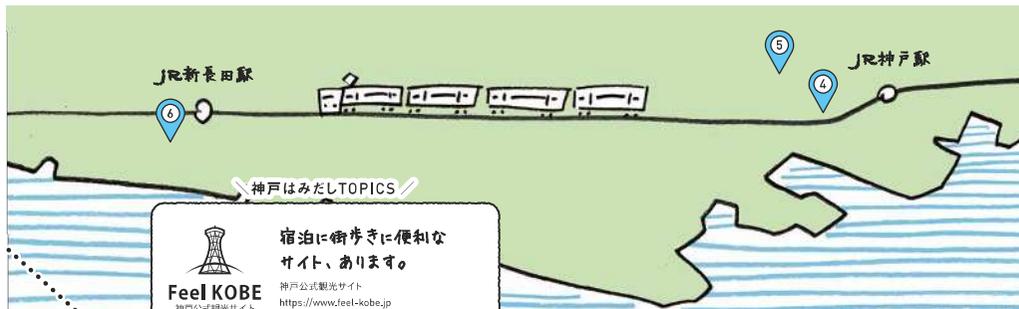
☎078-611-0650
神戸市長田区藤原町2-2-9
営 11:00 ~ 15:00、17:30 ~
20:30 水・定休



【岡本食品工業所】 ニッポンソース
【はら食品】 ぼらソース
【森田食品工業】 ブラザーソース
【オリバーソース】 オリバーソース
【平山食品】 プリンセスソース
【阪神ソース】 敬七郎

「国産ソース黎明の地」 神戸の地ソース

「こなもん」「そばめし」に欠かせないソース。明治時代に国産ソースメーカーが神戸で誕生したことから、ソース産業が盛んになり、今も6つのソースメーカーが存在します。神戸の地ソースの特長は、香辛料をたくさん使ったスパイスさ。スパイスが濃縮した「どろ」で作ったソースも地元で人気です。



神戸はみだしTOPICS
宿泊に徒歩に便利なサイト、あります。
神戸公式観光サイト
神戸公式観光サイト
https://www.feel-kobe.jp

「神戸の台所」は買い物ワンダーランド!

神戸新鮮市場

[兵庫区]

東山商店街



サキイカ、冷やし鮎、串揚げ...と食べ歩きが楽しい

湊川商店街



飲食店以外に、衣料、靴、カバンなどファッション系のお店も充実している

マルシン市場



魚介や精肉、豆腐などの生鮮・野菜の充実・好き好評

商店街DATA

- 東山商店街
[店舗数] 110店
[設立] 1954(昭和29)年
*1年中客定が絶えないが、特に年末の買い物時期と、夏の「湊川夜市」の日は大いに賑わう
- 湊川商店街
[店舗数] 100店以上
[設立] 1963(昭和38)年
*水通(スキップ通り)、中の那、パークタウン、湊川センタービル、湊川プラザの5つからなる
- マルシン市場
[店舗数] 32店
[設立] 1947(昭和22)年
*最近の話題は、シェアキッチン「marushin47(まんなな)」が2019年8月に開業したこと

大衆文化や娯楽が根付く神戸のB面

新開地商店街

[兵庫区]

商店街の入口付近にある、赤と青のゲート。よく見ると、喜劇王チャップリンのシルエットを模したものとわかります。明治から昭和にかけて活動写真小座や映画館が林立し、「東の浅草」と並び称されるほどに栄えた繁華街。その名残を留める商店街では、レトロ喫茶や焼鳥屋などとともに、今も劇場や寄席が健在です。



上台/タンポポクゲート「BIGMAN」。若き日のチャップリンも新開地を訪ねたことがあるそう。上芝/「新開地劇場」は日本最大級の規模を誇る大衆劇場。玄關には大衆演劇界のスター看板。下五/アーケードに掛けられた、音楽館の大道。音楽館は上方落語の定席で、2018年にオープンした。下左/反対側(湊川公園側)の商店街入口

商店街DATA

- [全長] 約650m [店舗数] 約180店 [設立] 1905(明治38)年
- 喜楽館
https://hokob-kirakukan.jp
- 新開地劇場
http://www.shinaiichige.kijyo.com

「COLUMN 神戸三十六箇所風呂神詣」



御朱印帳 無料配布中
集めたスタンプの数に応じて、お風呂グッズが当たるかも。御朱印帳は神戸市総合インフォメーションセンターと各加賀銭湯で配布中

> 詳しくはホームページへ
https://www.feel-kobe.jp/event/detail.php?id=9pB0qUuRl8Mx8R

たちは湯

昔ながらの木の香りが漂い、レトロな雰囲気。心地良い、たちは湯。電気風呂や浴槽、電流の強い電気風呂など、その個性は様々。現在、四国八十八箇所・お遍路巡りになぞらえ、市内組合加盟銭湯36湯を神様に目立てて巡り、御朱印帳(マップ付きスタンプ機)にスタンプを獲るも、オファンロ2を充実させています。

☎078-511-1526 神戸市兵庫区荒田町1-2-25
営 14:00 ~ 23:00 火・定休



ちゃっばり、ほかほか、神戸のローカル銭湯を巡る

オファンロ2

神戸には個性的なローカル銭湯が点在しています。熱いお湯や深い浴槽、電流の強い電気風呂など、その個性は様々。現在、四国八十八箇所・お遍路巡りになぞらえ、市内組合加盟銭湯36湯を神様に目立てて巡り、御朱印帳(マップ付きスタンプ機)にスタンプを獲るも、オファンロ2を充実させています。

開催中!



神戸の里山ってどんな場所？

すぐそばにある、日本の原風景



昔話に出てきそうな、どこか懐かしい景色。山の上と田んぼが広がり、青々とした緑の谷間に田舎の佇まいが、季節を問わずに感じられる。神戸の里山は、山と自然が共存している場所。神戸には、北区や西区を中心にさまざまな里山が残っています。その多くが、郡の中心部から車で30分圏内です。

神戸・里山暮らしのすすめ

都会の利便性と自然の心地よさを兼ね備え、神戸ならではの豊かな環境での暮らしを紹介するポータルサイト。
<https://kobe-satoyama.jp>



里山暮らしをちょっとのぞき見

「ごはんやさん キモリ」とある1日 — 神戸市北区 —

神戸の里山へ移住した、木金(きまた)ご夫婦、納屋を改装し、昨年「ごはんやさん キモリ」をオープン。のびのび育ててかきできる環境と家族の時間が増えたことが嬉しいと話す、奥さんによるアテレポートをご紹介します。



ごはんやさん キモリ
0778-223-2435 神戸市北区深津町東町6-6
木金 毎日11:00-16:30

午前9時。開店準備中、近所の農家さんからいただいた、菜の花を飾ります。美しい里山の自然でお客を待てる納屋が自分を満たしてくれます



午前11時。営業開始。本日のランチです。20年以上、会席料理を修業してきた主人が、旬のお野菜で作る日本料理です



午後5時。営業終了。娘とお散歩に。この日は一緒に一冊本を買っていました。娘が今欲しいものは量産です



YUSUKE DAN

巨さんが神戸を訪れた初日に出会い、すっかり癒されてしまったという白昼電話がきっかけ。旧居留地内の前町並みにあるその姿を眺めながら、自宅と事務所を行き来している。歴史を重んじる佇まいがあるけれど、観光名所として主張するでもなく、さりげなく街に馴染んでいるところにセンスを感じるのだと語ってくれました



「神戸は、都心と田舎の両方の良い場所が自分で選べるんです。僕は田舎側が好きなんです」と、鶴巻さん。写真は、自宅前の農園で家族団らんの様子

且 神戸らしさって何となくじゃないんだ、というのは驚きでした。僕の暮らしている中央区に比べても多様性に富んでいて、重層的。古今東西の事物が自然に溶け合っている。港感、多様なものそれその良さを認めてくれる。寛容性に満ちたところ。鶴巻 そうですね、港感。移住してみて実際にどうですか。住みづらさとか、感じますか？ 且 住みづらさ、というのは全く感じませんね。とても通ってやすいし、神戸という街に感謝しかない。だからこそ、神戸らしさ、なるものが開かれた空間で認められてしまっ、せつなくの魅力を薄れてしまっようにも思っているので、繋がりがやわらかい中で、スタイルが

更新されていく、素敵な街であり続けたいですね。鶴巻 わかります。神戸はよくとした特徴がある、なんて言われることもありまよな。全校児童が40人近くしかない淡河町は、危険な場所があったから外から来た僕へのバリアは無かったんです。どちらかと言うと、移住し独立する時は奥さんを探しましたね(笑)。「子ども小さいの、取戻さずどうするつもり!?」って。でも、入金のお金よ、出て入金のお金を返すのが大事かな、と思います。固定費が少ないうちは、やりたいてい不安は少なかった。巨さん、神戸での仕事に不安は少なかった。且 僕はこの場所がやりたいと思ったから、思い切った。僕自身も、色々な言語を手に入れていきたいですね。



KOSUKE TSURUMAKI

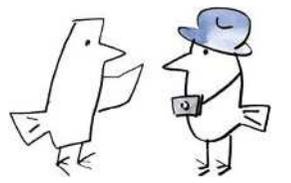
緑が美しい緑の「淡河町(おうごしゅ)本陣」。70年以上空き家だった場所が、鶴巻さんをはじめ住民みんなで改修して、カフェやショップもあるコミュニティスペースと生まれ変わりました。撮影中、たぐさんの人が「ねえねえ」と話しかけてきて、鶴巻さん、地元の人たちからすっかり慕われていますね!

大人になってから住む 神戸はどんな街ですか？

片や里山に暮らし、農家として6次産業化に取り組みつつ、里山と都市部をつなぐ様々な活動に携わる鶴巻さん。片や街中に暮らし、クリエイティブワークに従事しながら「株式会社自由港書店」を設立、幅広い事業の創造に向けて準備中の巨さん。お互い東京生まれの2人が語り合う、神戸暮らしとは？



神戸に根差す人



神戸に魅了され、この街に移り住み、根差そうとしている人たちがいます。レベルでご紹介するのは、神戸の街角から聞こえてきた、そうした移住者2人による素敵な会話。どうやら実際に暮らし始めて、みると、また違った神戸の魅力が見つかるようですよ。

NEW KOBE INHABITANT



【淡止場町アライ】
巨悠輔さん

- 年齢: 40歳
- 出身地: 東京都
- 神戸在住歴: 1年
- 仕事: 個人で幅広くクリエイティブワークに従事しつつ、新たな事業開始に向けて準備中
- 好きな場所: 海側の自宅から同じ海側の事務所まで徒歩20分圏内の里山として利用された場所を、自分たちで改修し運営している「淡河町(おうごしゅ)本陣」



【里山暮らし】
鶴巻耕介さん

- 年齢: 35歳
- 出身地: 東京都
- 神戸在住歴: 6年
- 仕事: 「なるま農園」として、農園や農村文化コーディネーターなど複数の仕事を持つ
- 好きな場所: 江戸時代に大名家の邸宅跡として利用された場所を、自分たちで改修し運営している「淡河町(おうごしゅ)本陣」

神戸に住むならガイド

神戸のことを知りたい! 聞きたい! そんな時にご活用いただける、相談窓口や各種ポータルサイトがあります。

神戸暮らしならでも相談窓口
東京・松本町「ふるさと経済支援センター」に神戸市の移住相談窓口がオープン。神戸暮らしを希望する方の、移住に関する様々な質問に専属相談員がお答えします
☎03-6273-4401 (火~日 10:00~18:00)

KOBE address
神戸市公式移住ポータルサイト。市内各エリアの情報や子育てなど各種サポート制度も紹介
<https://kobeaddress.city.kobe.lg.jp>

KOBE JOB PORT
神戸市が運営する、神戸で働きたい人と、働く人を探し合う企業・団体向けのポータルサイト
<https://www.city.kobe.lg.jp/infocenter/head/kobejobport/>



「鶴巻さんや松本さんなど偉大な作家の方々も住まいに選ばれたように、神戸は成熟した大人の街という印象です。ノイズに振り回されず『現代』に向き合うことができるコンテンツが豊富にあります」と、巨さん